

一般質問通告書一覽表

令和5年第3回 南九州市議会定例会

[illegible]

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
4 西 山 一	1 新庁舎建設について (1) 事業費が当初計画から 20 億円増となっており、新庁舎建設を進めていく上では市民への理解を得る必要があると考えるが見解を問う。 2 河川堤防の環境整備及び維持管理について (1) 河川堤防の環境整備については、自治会等で行っているものが多数あるが、高齢化で人手不足や安全面からも継続していくのが難しい状況であるとの声を聞くが見解を問う。 (2) 河川堤防の法面で洗堀により危険な箇所が見受けられるが、危険箇所への対策を問う。	市 長 市 長
5 吉 永 賢 三	1 地域活性化について (1) 本市の地域経済の浮揚及び地域活性化を図るため、南九州市公式LINEで割引クーポンを取り組む考えはないか。 2 学校給食センターについて (1) 学校給食センターの開設から11年経過し、施設・設備等の老朽化が見られるが、安心安全で安定的な学校給食の提供を維持するための施設・設備等の維持管理の状況と更新計画を示せ。 3 防犯カメラについて (1) 防犯カメラの設置について市民からの要望があるが、令和3年9月議会において、令和3年度で一応終わり、今後は防犯上必要との声があった場合は設置してまいりたいとの答弁であった。市民からの要望を受け設置する考えはないか。	市 長 市 長・教育長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
6 内園 知恵子	1 スポーツ少年団のあり方について (1) 市内のスポーツ少年団で指導者からの暴言等パワハラ行為があると聞いたが、市の対応及び見解を問う。 2 マイナンバーカードについて (1) マイナンバーカード取得後に保険証や口座情報等で様々なトラブルが全国で相次いでいるが、本市で発生した場合の市の対応及び見解を問う。 3 物価高騰による農家支援について (1) 物価高騰による飼料及び肥料等の値上がりにより市内農家の経営状況が厳しい状況であると聞かすが、さらなる市独自の支援制度を構築する考えはないか。 4 補聴器助成制度について (1) 高齢者に多い加齢性難聴者の健康寿命を延ばすことは、高齢者の社会参加や医療費抑制にも繋がることから、補聴器助成制度が全国的にも広まっているが、本市でも取組む考えはないか。	教育長 市 長 市 長 市 長
7 竹迫 毅	1 教育行政について (1) 急速な人口減少、少子化が現実のものとなっている中、教育委員会が学校の統廃合を含む教育行政について、主体的に進めるべきだと思いが見解を問う。 2 市外の高校へ通学する高校生への資格検定受験料補助について (1) 市内の高校に通う高校生には、市内の県立高等学校活性化協議会を通じ資格検定受験料に対して補助があるが、平等性の観点から市外の高校に通学する高校生に対して、資格検定受験料の補助をすべきと考えるが見解を問う。	教育長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
8 上赤 秀人	1 新庁舎建設について (1) 総事業費 45 億円の計画を 65 億円に変更することに対して、市民から納得しないとの声を聞く。今回の変更について市民に対し説明責任を果たすべきではないか。 2 介護に関する相談窓口の設置について (1) 多岐に渡る介護に関する相談を受け付けるワンストップ窓口を設置する考えはないか。	市 長 市 長
9 大倉野由美子	1 市長の政治姿勢について (1) 国は、今後 5 年間で 43 兆円の大軍拡と国民への増税を計画し、憲法を踏みにじり戦争国家づくりを強行しようとしている。平和の尊さを語り継ぐ都市としての市長の見解を問う。 2 新庁舎建設について (1) 資材高騰を理由に総事業費が 45 億円から 65 億円と 1.4 倍になる説明があったが、今後の市民への説明と合意形成について問う。 (2) 将来市民へ借金を残さないように、建設の基本計画を大幅に見直す考えはないか。 3 既存住宅のリフォーム助成制度について (1) 既存住宅へのリフォームに対して助成することは、定住促進及び地域活性化に繋がると考えるが、制度創設を検討する考えはないか。	市 長 市 長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
10 大倉野 忠浩	1 はり・きゅう等施術料の助成制度の見直しについて (1) 少子高齢化により生産年齢人口が減少かつ高齢化しているため、市民の健康寿命を延ばすことは、本市の基本目標である『安心・安全でいきいきと健康に暮らせるまち』の実現に必要不可欠であると考える。 はり・きゅう等施術料の助成制度については、現在、65 歳以上・1 回 800 円の助成となっているが、従前の 60 歳以上・1 回 1,000 円の助成に見直す考えはないか。 2 大谷川の陥没の改善について (1) 大谷川の各所に広がる陥没の改善について、今まで地元からも要望してきたが、県との協議内容や今後の見通しについて具体的な対応を問う。	市 長 市 長
11 松久保 正毅	1 公共施設のLED化について (1) 電気料金が高騰している現状を受け、経費削減の観点からリース方式等による公共施設のLED化を早急に進める考えはないか。 2 小学校の統廃合について (1) 小規模校の統廃合を行政主導で進める考えはないか。また、学校の統廃合をする場合の施設整備の考え方を問う。 3 学校の屋内体育施設の整備計画について (1) 学校の屋内体育施設の老朽化が進み、外壁の劣化や雨漏り等の不具合が見られるものがあるが、施設の整備計画を問う。	市 長 教育長 教育長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
12 浜田 茂久	1 少子化対策について (1) 本市の存続さえ危うくする人口減少状況への認識と、若い世代が安心して結婚し、子どもを産み育てることのできる環境整備に対する所見を問う。 (2) 小中学校の教育において、家族・家庭の価値や意識に対する教育と仕事・結婚・出産・育児などについての自分の人生を具体的に考えるライフデザイン教育、この2つの教育を実践する必要があると思うが見解を問う。	市 長 市 長・教育長
13 日置 友幸	1 市有財産の活用及び公共施設等適正配置計画について (1) 「ネーミングライツ」「空きスペース活用」「未利用地の売却・貸付」「施設の民間移管」などについて、民間事業者との対話を通じて連携し、今後の事業化の可能性を検討することを目的として、サウンディング調査（対話型市場調査）を通年実施する考えはないか。 (2) 公共施設等適正配置計画及び関連計画について、策定及び実施段階で住民の意向をどのように反映させるか。 2 市内の飲食店及び宿泊施設等で利用できる LINE クーポン発行について (1) 昨年度まで県が発行していた LINE クーポン（ぐりぶークーポン）などを参考として、飲食店及び宿泊施設等で利用できる市独自の LINE クーポンを発行する考えはないか。 3 南九州市ふれあい教室「スマイル」について (1) 不登校児童生徒が増加傾向にあり、「スマイル」の存在価値が高まっている。対象児童生徒の通学方法や指導員の数に課題があると考えているが、現状と今後の体制についてどのように考えるか。	市 長・教育長 市 長 市 長・教育長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
14 蔵元 慎一	1 南九州市地域再生可能エネルギー導入戦略について (1) 令和4年度に地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業を活用した委託業務が令和5年2月に完了しているが、再エネ活用の方向性とロードマップについて問う。 2 農業振興について (1) 本市の有機農業の現況及び国が「みどりの食料システム戦略」の中で掲げている有機農業の取組面積を25%に拡大する目標に対しての今後の取組を問う。 3 南薩地域振興局の誘致について (1) 市長は、令和4年12月議会の同僚議員の一般質問に対して、南薩地域振興局の誘致について「引き続き、議会や民間団体と足並みを揃え、要望活動を行う」と答弁しているが、その後の取組状況について問う。	市 長 市 長 市 長
15 西 次雄	1 子育て支援について (1) これまでの子育て支援対策の施策と成果を問う。 (2) 子育て世代にアンケート等を実施し、子育て世代のニーズに応じた市独自の子育て支援策を講ずる考えはないか。 (3) 子育て支援には、子どもの居場所づくりが大切であり、今年度には地域子育て交流館が設置されたが、空き家等を活用して増設する考えはないか。 (4) 「子育て基金」等の基金を設けて、市民や企業等から寄付を受けて生活困窮家庭の高校生向け給付型奨学金を進める考えはないか。	市 長・教育長